

平成 2 2 年度

国際理解教育研究大会報告書

第 1 8 回岡山県国際理解教育研究大会

岡山大会

「世界の中の日本，学び合う国際理解教育」

～私にもできる国際理解教育～



期日：2011（平成23）年1月25日

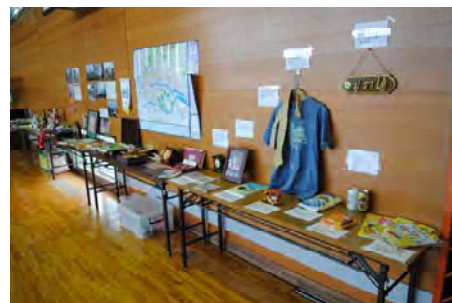
会場：岡山県津山市立誠道小学校

岡山県津山市久米川南919

主催： 全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会
岡山県国際理解教育研究会

後援： 岡山県教育委員会 津山市教育委員会
岡山市教育委員会 倉敷市教育委員会
（財）福武教育文化振興財団

第18回 研究大会



報告書



平成22年度

第18回岡山県国際理解教育研究大会

開催要項

1 日程

9:30 10:00 10:20 11:35 12:20 13:30 14:15 14:30 15:30

受付	開 会 行 事	海 外 レ ポ ー ト	公 開 授 業 Ⅰ	昼 食 休 憩	公 開 授 業 Ⅱ	移 動	講 演 ワ ー ク シ ョ ッ プ	閉 会 行 事
----	------------------	----------------------------	-----------------------	------------------	-----------------------	--------	---	------------------

2 講演 「授業で使える 世界の話」～国旗を使った演習～ ワークショップ

片山 主計先生

岡山県国際理解教育研究会・参与
岡山ユネスコ協会・講師
岡山県文化連盟・講師

3 海外レポート

	主題	発表者
10:20 ～10:50	「リマ日本人学校及び 現地校における教育事情」	山本 義人 (岡山市立江西小学校教頭)
10:55 ～11:25	「アジア大会に沸いた広州と 広州日本人学校の様子」	藤井 小百合 (笠岡市立金浦中学校教諭)



4 公開授業

I (1 1 : 3 5 ~ 1 2 : 2 0)

学年	単元名	指導者
1 年 2 年	生活科 「タイの遊びを楽しもう」 ～日本の遊びと比べてみよう 音楽室	村尾 剛介 (岡山市立岡山中央小学校教諭) 田村 嘉啓 (吉備中央町立下竹荘小学校教諭)
3 年 4 年	総合的な学習 「マレーシアの B-1 グルメに挑戦」 ～日本と違う食文化を知ろう 家庭科室	三宅 貴恵 (倉敷市立第四福田小学校教諭) 今田 雅彰 (倉敷市立東中学校教諭)
5 年 6 年	総合的な学習 「知ることから始まる国際理解①」 体育館	NPO法人 国際文化友好協会の方々 木村 克巳 (津山市立誠道小学校教諭) 瀬形 健成 (津山市立誠道小学校教諭)

II (1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 1 5)

学年	単元名	指導者
3 年	英語 「What ~ do you like ?」 (あなたの好きなものはなに?) 3 年科室	赤田 優子 (津山市立誠道小学校教諭)
5 年 6 年	総合的な学習 「知ることから始まる国際理解②」 体育館	NPO法人 国際文化友好協会の方々 木村 克巳 (津山市立誠道小学校教諭) 瀬形 健成 (津山市立誠道小学校教諭)

5 その他 ○展示 (9 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0)

日本人学校派遣者が海外から持ち帰った物や写真を展示します。

○日本人学校へのアプローチコーナー (1 2 : 2 0 ~ 1 3 : 0 0)

日本人学校に派遣を希望されている方、お気軽にご相談ください。

目 次

1	研究大会を終えて（会長挨拶）	1
2	講演「授業で使える世界の話」	3
	講師 岡山県国際理解教育研究会参与 岡山ユネスコ協会講師 片山 主計 先生	
3	平成22年度研究課題	6
4	授業公開	8
5	海外レポート	23
6	各国の紹介・展示コーナーなど	28
8	あとがき	33

研究大会を終えて

岡山県国際理解教育研究会 会長 都築 勉

(岡山市立富山小学校長)

寒い中、中には雪道を走って本研究大会に駆けつけてくださった方もおいでと思います。誠にありがとうございました。また、お忙しい中、ご後援をいただきました津山市教育委員会教育長の田村先生と主幹の赤畑先生がご来賓としておいでくださいました。誠にありがとうございます。田村教育長さんは、私ども派遣教員の大先輩であります。70年代にパリに赴任されています。この後のご挨拶の中でもお話しいただけるのではないかと存じます。



さて、小学校の新指導要領がこの4月から実施されます。また、中学校は来年度から実施されますから、その準備に忙しくされていることと思います。今回の改訂では、思考力・判断力・表現力を育成することが重視され、さまざまな改善点が組み込まれています。小学校5・6年生における外国語活動の導入もその一つです。小学校における外国語活動は高校での英語による英語教育とつながるものですから、中学校における外国語教育にも大きな影響を与えるものとなります。英語の使える日本人の育成は、グローバルな社会に対応する国家の戦略となっており、外国語もやがては教科として位置づけられていくものと考えます。

しかし、私たちにとって第2言語はあくまでも道具でしかありません。この道具を使いこなせるかどうかは、その人のものの感じ方や考え方に左右されます。いかに流ちょうな英語であろうと相手を理解しよう、相手の立場を大事にしようとしなければ、会話は成り立ちません。反対に、つたない英語でもしっかりと相手と結びつき、何事かを一緒にやり遂げることもできるものです。小学校外国語における「言語や文化に関する理解」といわれる目標はそのことを表しているものと考えべきです。

今時改訂にあたって、中央教育審議会では、改訂の趣旨の中で持続可能な開発のための教育つまりESDの重要性に触れています。外国に一度も行ったことがない人でも、また、これから外国人と話すことがない人でも、日本に生きていること自体が世界との関係を持っていることだと理解するならば、外国のことに無関心であってはならないということです。総合的な学習における内容例示にとどまらず、これからの教育全体にとって国際理解教育がますます重要になっていることに留意が必要ですし、本会の存在もますます重要になってきていると自覚しなければなりません。

現在，県の役員段階では研究課題の見直しを始め，それに対応できる組織の見直し，行事の見直しに着手しています。研究課題については，構成も含め研究部で検討中です。また，組織については，支部組織を作り，日々の実践を積み上げるために足腰を強化していきたいと考えます。行事の見直しですが，まず，派遣教員の経験を岡山県の教育に生かすためにも帰国報告会を県教委・岡山市教委と共催する形で実施することが大事で，それが実現できることになりました。さらに，県内の国際教育に関係する諸団体とも連携を図ることで，国際理解教育の内実をより豊かなものにしていくことも視野に入れています。本研究大会にご参集の皆さんの一層のご尽力をおねがいたします。



また，３年前の津山大会で中国地区国際理解・帰国子女教育研究大会が始まりました。来年度は広島県で開催されることが決まっており，岡山県からは外国語活動について提案することになっています。このように中国地区研究大会も軌道に乗って来ました。岡山県における取り組みが，全国の仲間の検証を受ける時代になってきています。

岡山県の国理解教育研究会は，その誕生の経緯からいっても，派遣教員のサークル的な研究会などではなく，岡山県の次の世代を育成するという展望のもとに研究にあたる組織としてあるということを広く知らしめて行かなくてはなりません。そのような意味で，今大会を見てみますと，他校に勤務する派遣教員が本校の子どものために国際理解に関する授業を行うという形も，県内の国際教育に関する団体が学校の実践に協力するという形も今後の研究に話題を提供する貴重な大会となるものと思います。

最後になりましたが，この研究大会のためにご尽力くださった，津山市立誠道小学校の先生方，実践報告をしてくださる先生方，県内各地から駆けつけてくださった役員の皆さんに心からお礼を申し上げます。

片山先生は、ご自分の経験を織り込みながら、国際理解教育の授業に活用できる講話・ワークショップを展開されました。

○中国情勢

中国では、旧暦を農曆と言います。日本に中国人留学生が多くなっています。岡山商科大学では 500 人以上、吉備国際大学では 300 人以上の留学生が学んでいます。

将来日本は中国の自治区になるのではないかといわれる説もあります。中国のウイグル自治区の留学生の話によると、ウイグル自治区では中国政府の政策により民族の言語、土地が奪われています。ウイグル自治区はウズベキスタン、シリアとつながりがありイスラム教を信仰しています。

○年賀状の干支・・・

日本の今年の干支は“卯”ですが、ベトナムから届いた年賀状の干支は“猫”でした。未はヤギ、亥はブタだそうです。干支の動物も国によって異なることが分かります。

○イスラム教の話

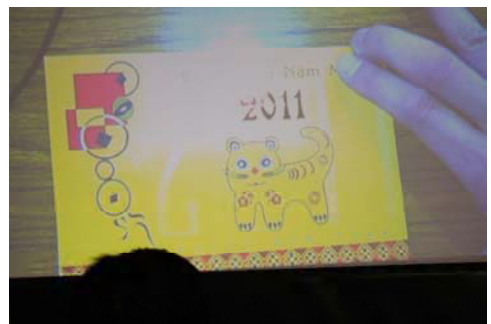
岡山大学の東にイスラム教のモスク（アパートの一室）が 1～2 年前にできました。金曜日の午後に礼拝があります。最近、町内会から反対排斥運動が起きているそうです。理由は気持ちが悪いか、何かしりょうである・・・など先入観によるものです。国際理解では、このように他国の文化を排除するようなことがあってはいけません。

○韓国の小学校と日本人学校の交流

両国の国歌が流れたとき、韓国の生徒はきちんとしていましたが、日本の生徒は韓国の国歌、日本の国歌が流れているときにダラダラしていて恥ずかしい思いをしました。日本では、戦後教師が国歌、国旗のことを避けてきた感があります。しかし、現代の国際社会ではきちんと教える必要があるのではないのでしょうか。

ワークショップ 1：国旗の図柄を利用

例としてキリバス共和国の国旗を提示しました。その図柄から国の位置や特徴を考えることができるのです。この国旗は、上半分には赤地にコグンカンドリ（希望の象徴）が日の出の太陽の上を飛んでいるデザインです。海から昇る太陽の図柄で、この国が日付変更線に近く世界で一番早く太陽が昇る国であることを表しています。このやりかたは学級旗作りにも利用でき、学級の特徴をとらえることができます。



カムチャツカの若者が
きりんの夢を見ているとき
メキシコの娘は
朝もやの中でバスを待っている
ニューヨークの少女が
ほほえみながら寝がえりをうつとき
ローマの少年は
柱頭を染める朝陽にウインクする
この地球では
いつもどこかで朝がはじまっている

ぼくらは朝をリレーするのだ
経度から経度へと
そうしていれば交替で地球を守る

眠る前のひととき耳をすますと
どこか遠くで目覚時計のベルが鳴ってる
それはあなたの送った朝を
誰かがしっかりと受けとめた証拠なのだ



この詩の朗読から始まり、どんな授業ができるかと発問しました。数人の朗読者がカムチャツカを「カムチャツカ」と朗読しました。思い込みがあるからなのです。地名や国名はきちんと発音することが大切です。他にも、グアムを「グアム」、バングラデシュを「バングラディッシュ」などと思い込みで読むことがあります。現地読みにすることが大切なのです。

ワークショップ3：日本の国旗“日の丸”と“バングラデシュの国旗”の比較

バングラデシュの留学生は、誇りを持って自国の説明をしますが、日本人の学生は日本の良いところと言えない人が多いのです。国旗の説明をさせたところ、日本の日の丸を“日の丸弁当”を表していると小学生や留学生に説明した日本の大学生がいたそうです。日本は最初に日が昇ります。日付変更線の地図を見るとわかります。このように簡単なことから学ぶことができるのです。また、国旗の類似性から日本とバングラデ



シュの関係を考えることができます。独立したときに日本の援助に感謝し、日本の国旗に似たものにしましたのです。緑は自然、赤い丸は独立の時に流した血を表しています。このように、国旗は大切なものであるという意識を育てることが大切です。

ワークショップ4：世界のお金を利用

通貨にはその国の人物・植物・建築などの特徴あるものが表現されているので、どのような国なのかを考える教材になります。5年生が、「世界のお金」という授業で作ったお金を紹介します。学校の校章や校長の似顔絵、学校名などを入れて作っています。

片山先生は、25年余りにわたって、自宅を留学生の下宿にし、今までに200人以上を世話してきました。現在も、3カ国5名の留学生が下宿しています。世界中にいる、そんな留学生達を訪ねて行くこともあります。またユネスコの仕事で、たくさんの学校を訪問し、国際理解教育を実践しておられます。



研究課題について

1 新しい研究課題の提案

(1) 新しい研究課題

〔研究課題の編成〕

I 多文化理解（・人間理解（人権） ・多文化理解 ・世界の現実理解）

II コミュニケーション（・コミュニケーション ・外国語教育）

(2) 新しい研究課題提案の理由

- ①新学習指導要領の趣旨を踏まえること
 - ②国際理解教育研究のねらいを見直し、明らかにすること
 - ③学校教育における研究の取り組みに無理のない課題であること
- 等を考慮した上で、次のような研究課題の編成にした。

研究のねらいを明確にするため、「I 多文化理解」と「II コミュニケーション」の2つの分野を中心に取り組む。

なお、「I 多文化理解」において扱う課題として、「人間理解（人権）」「多文化理解」「世界の現実理解」を含む。

「II コミュニケーション」において扱う課題として「コミュニケーション」「外国語教育」を含む。

(3) 補足説明

これまでの岡山県国際理解教育研究会の課題は、研究が分野別に展開されることを念頭に置き、はじめに研究課題を提示しそのあと実践・研究の具体化を図るための実践課題を置いている。

(2) の①について

新学習指導要領における主な改善事項の中に「道德教育の充実」が挙げられている。社会の秩序が十分に機能せず規範意識が希薄化していることが指摘される中で、道德教育が果たす役割はこれまでになく強く求められている。本会が研究課題「I 多文化理解」で示す「違いを認めるとともに、同じ人間としての共感を持ってお互いの人権を尊重しようとする態度を育成する」ことは道德教育の理念にかなうものであり、「人間理解（人権）」「多文化理解」「世界の現実理解」の諸課題に取り組むことは、新学習指導要領の趣旨に沿った研究である。

→道德も大事だが、E S Dを先に書く

また、新学習指導要領の主な改善事項に、「言語活動の充実」、「外国語活動・教育の充実」が挙げられている。これらは「II コミュニケーション」分野における研究課題に取り組むことで自己を表現する力を充実することになり、趣旨に沿ったものとなる。

(2) の②について

ア. 研究課題の分野

「平成21年度国際理解教育研究大会報告書」の10頁から15頁に、これまでの「国際理解教育の内容と課題」が詳しく記載されている。これを見ても分かるように、「人間理解（人権）」、「多文化理解」、「世界の現実理解」の研究課題は、それぞれ「違いを認めるとともに、同じ人間としての共感を持ってお互いの人権を尊重しようとする態度を育成する」というねらいに共通点が多い。

また、「コミュニケーション」、「外国語教育」においては「自分の意見や存在に自信を

持つためには、他から共感を得たり、互いの存在を認め合ったりすることが大切である。つまり、良好な人間関係を基礎として相互理解や相互協力が成り立つのであって、コミュニケーション能力の育成は、このような視点のもとで行われる必要がある」こと等ねらいに共通点が多い。

これらのことから、従来の研究課題の共通する点に焦点を当てた研究課題として「Ⅰ 多文化理解」と「Ⅱ コミュニケーション」の2つの分野に編成することとした。

イ．実践課題の内容

これまで実践・研究の具体化を図るための実践課題を置いているが、内容は研究課題を実践した後の評価項目でもある。実践課題については、評価項目として単年度ごとに決め、研究授業あるいは公開授業を実施する場合の課題として具体的実践に結び付け、検証するものとした。

(2) の③について

学校教育における研究の取り組みで大切なことの1つに、日常の教育活動に過度の負担がかからないことが挙げられる。今日の学校教育に求められる責任と期待は、教師を多忙化させており、研究課題の実践は負担が少なく、取り組みやすく継続しやすいものでなければならない。このような状況をかんがみ、研究課題が従来の5領域の制約を感じることなくより取り組みやすいものとなるよう検討し、2つの分野に編成することを考えた。

【参考】

※ 「小学校教育の改善の基本的な考え方」

(参考：学習指導要領の改善について ～中央教育審議会答申)

① 理数教育の充実

- ・ 少子高齢化と行った我が国の人口構造の変化の他、環境問題やエネルギー問題といった地球規模での課題については、次世代への負の遺産を残さず、人類社会の持続可能な発展のために科学技術に何ができるかが問われている。

参考：持続可能な社会のための教育＝E S D

② 小学校における外国語活動

- ・ 社会や経済のグローバル化が急速に進展し、異なる文化の共存や持続可能な発展に向けて国際協力が求められると共に、人材育成の面での国際競争も加速していることから学校教育において外国語活動を充実させることが重要な課題の一つとなっている
- ・ 外国語活動のねらいは、小学校段階にふさわしい国際理解やコミュニケーションなどの活動を通じて、コミュニケーションへの積極的な態度を育成すると共に、言葉への自覚を促し、幅広い言語に関する能力や国際感覚の基礎を培うことを目的としている。

※ 学習指導要領「総合的な学習」

- ・ 国際理解に関する学習を行う際には、問題解決や探求活動に取り組むことを通して、諸外国の生活や文化などを体験したり調査したりするなどの学習活動が行われるようにすること。

新学習指導要領の現状認識として、「21世紀は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化を始めあらゆる社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代であると言われている。」がある。

また、「知識基盤社会化やグローバル化は、アイデアなどの知識そのものや人材をめぐる国際競争を加速させると共に、異なる文化・文明との共存や国際協力の必要性を増大させている。」とし、「国や社会の間を情報や人材が行き交い、相互に密接・複雑に関連する中で、世界や我が国が持続可能な発展を遂げるためには、環境問題や少子高齢化といった課題に協力しながら積極的に対応することが求められる。このような社会では、自己との対話を重ねつつ、他者や社会、自然や環境と共に生きる積極的な「開かれた個」であることが求められる。」としている。

- 1 単元名 「タイの遊びを楽しもう」
～日本の遊びと比べてみよう

2 本時案

目 標	タイの遊びを知り，日本の遊びと比較しながら，楽しむことができる。
学 習 活 動	教 師 の 支 援 と 工 夫
1 タイについて知り，本時のめあてを確認する。 5分	○タイの衣装を着たり，タイに関する簡単なクイズを出したりすることで，児童の気持ちを和らげる。また，タイに対する興味をもたせる。
タイの遊びにチャレンジしよう。	
2 タイの遊びのやり方を知り，実際にやってみる。 ①マークゲップ （石のお手玉） ②ピッターティーモー （土鍋たたき） ③イータック （豆すくい） ④パオゴップ （輪ゴムとばし） ⑤ココナッツポックリ ⑥ナムクンナムロン 25分	○事前に場作りをしておいて，分かりやすく短時間で説明を行う。また，簡単な説明を絵とともに掲示しておき，活動しやすくさせる。 ○6つのグループに分けておき，最初に活動する場だけ決めて，混乱を防ぐ。 ○安全面に配慮し，タックロー（けまり）や，グラターイカーディヤオ（ウサギのおにごっこ）については，紹介だけにする。 ○児童に声をかけながら回り，次の活動に向けて話しやすい雰囲気作りをしておく。
3 体験した遊びについて，話し合う。 10分	○日本の遊びと比較した意見を述べた児童がいたら賞賛する。もし，比較が出ない場合は，似ている遊びがないか考えさせる。
4 まとめをする。 5分	○他国の遊びを十分楽しむことができたことを認め，今後の活動の意欲とさせる。
評価の観点 ☆タイの遊びを知り，意欲的に活動することができる。 ☆友達と仲良く活動することができる。 ☆タイの遊びと日本の遊びを比べることができる。	

平成23年1月25日（火）第4校時 指導者 今田雅影
三宅貴恵

- 1 単元名 「マレーシアのB-1 グルメに挑戦」
～日本と違う食文化を知ろう～

2 本時案

目標	私たちの生活に欠かせない食を通してマレーシアと自国との類似点や相違点について認識し，異なる文化について関心をもたせるとともに，異文化理解を深める。	
学習活動		教師の支援と工夫
1 本時のめあてを確認する。	○ マレーシアの食事情を紹介して，関心をもたせる。 ○ 本時に調理するものの調理方法を演示し，手順よく作れるようにさせる。 ○ 安全に作業するためにガスの火に気を付けるように助言する。	
マレーシアのB－1 グルメ，「ロティ・ジャラ」と「ライムジュース」を作ろう。		
2 各グループごとに調理する。	○ あらかじめ必要な材料を下準備しておき，時間の無駄をなくすようにさせる。 ○ フライパンで焼く調理については，安全面を重視して火傷などをしないように支援の先生をお願いしておき，見守りや必要に応じて手助けができるようにしておく。	
3 試食するとともに本時のまとめをする。	○ 早く調理が完成したグループは，できる片づけをしながら待たせる。 ○ 各グループの調理が完成したら試食させる。 ○ 試食しながら，各グループで感想を話し合い，発表させる。	
4 片付ける。	○ ごみの分別や油の処理など効率よくできるようにアドバイスしながら，もとのようにきれいに片付けられるようにさせる。	
評価の観点		
☆ 自分とは異なるマレーシアの人々の食を知り，積極的に体験できる。		
☆ 友達と協力し合って，興味をもって調理することができる。		
☆ マレーシアと自国との類似点や相違点に気がつき，積極的に感想を述べることができる。		

1 単 元 名 : 好きなスポーツをたずねよう (第2時)

2 本時のねらい : 友だちの好きなスポーツを知ろう。

3 本時の展開

学習過程 (時間)	学習活動の内容 ○指導者の活動 ●児童の活動	※指導上の留意点 △準備 ◎評価
1 Greeting	○スモールトークをする。 T : Good afternoon, everyone. S : Good afternoon. T : How are you today? S : I'm fine thank you, and you? T : I'm fine thank you. Let's start English class.	
2 Game1	●鼻鼻ゲーム	
3 Practice	○ジェスチャーゲームをする。 ●指導者や児童のジェスチャーを見て、何のスポーツか当てる。 baseball soccer basketball volleyball table tennis badminton dancing swimming dodge ball jump rope skating bowling judo karate golf skiing ○スポーツの名前を言う	※発音やアクセントを意識させる △スポーツの絵カード ※絵カードを見せながら、スポーツの名前の発音をさせる ◎楽しんでゲームに参加しようとする
4 Activity I (Conversation)	●本時のめあてを知る。 友だちの好きなスポーツを知ろう。 ●どのスポーツが好きか尋ねたり答えたりする。 T : What sport do you like? Repeat after me. S : What sport～. T : I like baseball. Repeat after me. S : I like baseball. ○児童一人一人に尋ねる。 T : What sport do you like? S : I like ～. ●HRT にどのスポーツが好きか尋ねる。 S : What sport do you like? T : I like badminton.	※カードを指す ※手拍子でリズムを取りながら繰り返し練習する ※baseball の部分にはいろいろなスポーツが入ることを知らせる ※～の部分は、見せたカードのスポーツを入れる △スポーツの絵カード

第5・6学年総合学習指導案

平成23年1月25日（火）第4・5校時 指導者 西岡・木村・瀬形

1 単元名 世界の国々を知ろう（総合的な学習の時間）

2 本時案（全3時間 本時・・・2／3,3／3）

目 標	・世界にはいろいろな国々があることを知る。 ・ゲームなどを通じて、いろいろな人とコミュニケーションを図る。 ・自分の知らないことにも、失敗をおそれないで挑戦する。
学 習 活 動	教 師 の 支 援 と 工 夫
<第2／3時> 1 本時のめあてを確認する。	○前時の学習から、課題として与えられたことをもう一度確認する。 ○3名のゲストが自己紹介する
1 自分が調べたそれぞれの国について発表し、本当かどうか尋ねる。 2 それぞれの国の人と話をする。 3 それぞれの国のゲームを教えてもらって、交流する。	
インドネシア・フィリピン ケニアの3カ国 2 自分たちの調べたことを発表する。 3 それぞれの国の人とコミュニケーションをとる。	○ゲストには、それぞれの国の特徴的な物（衣装や道具など）を持ってきてもらう。 ・それぞれの国の人に対して、担当ごとに予め調べておいた文化や食べ物について発表させる。 ・6つの班に分けて、2班ずつ担当させる。 ○自分の担当の国の人にはいろいろと話しかけることができるようにする。
<第3／3時>	
1 自分が調べた津山市や岡山県について、クイズを出す。 2 日本に昔から伝わるゲームをして、楽しむ。	
4 自分たちからクイズを出す。 5 日本の伝統的なゲームをして楽しむ。 6 まとめをする。	○日本や岡山県、津山市について、2択や3択の問題を作ってわかりやすくしゃべるようにさせる。（3つの班） ○「剣玉」「独楽回し」「お手玉」のゲームを紹介し、それぞれの班で楽しむ。（3つの班） ・このとき、積極的にコミュニケーションがとれるように支援する。 ○それぞれの国の人と握手をして、さよならをする。

平成22年度 国際理解教育計画

1 目標

- ・ 国際理解教育の視点に立った学習活動を通して、相手を思いやり互いに認め合い、共に生きていこうとする豊かな心を養う。
- ・ 国際人にふさわしい広い視野（異国の文化を尊重する態度）をもつと同時に、外国の人と接する場合、進んで自己表現をしようとする心情や態度を育てる。

2 具体的目標

- ・ 外国文化を直接体験することを通して、外国への理解を深める。
- ・ 言語の壁を乗り越え、人との交わり方に積極性を発揮する。
- ・ 外国語に興味関心を持つ。
- ・ 豊かな心を育む。（思いやりと共生）

3 具体的活動例

- ・ A L T の先生との交流（外国遊びの共有、簡単な日常会話の習得）
- ・ インターネットや資料を活用して、異文化の情報を収集し、外国への理解を深める。

1～4年生	5年生	6年生
・ A L T の先生との交流 ・ 世界の遊び ・ 世界の食文化	・ A L T の先生との交流 ・ 日本の文化を調べよう ・ 世界のことを知ろう ・ 外国料理に挑戦	・ A L T の先生との交流 ・ ユニセフ・対人地雷について ・ 世界のことを知ろう ・ 外国料理に挑戦

4 研究方法

- ・ 国際理解教育を通して育てたい力を具体化する。
- ・ 地域の人材発掘活動を進めると同時に、人材を確保して有効な指導法を実践的に研究する。（ALT や地域在住の外国人など）
- ・ 総合的な学習や特別活動を通して位置付け実践する。

5 留意点

- ・ 実践記録の保存
- ・ A L T の先生と交流計画を立て、実践する。

単 元	タイトル	1 年	2 年	3 年	4 年
1	あいさつをしよう	• Hello./Good-bye. • Good morning. /afternoonn • Nice to meet you. • How are you? • I'm fine ,thank you.	• How are you? • I'm fine,thank you. • I'm tired /great / happy /sad. • • I'm hungry / thirsty / hull.	復 習 • I have a cold. • I have a fiver. • I have a cough. • I have a sore throat.	復 習 • I have a headache/ a stomachache/ a toothache/ a runny nose.
2	数で遊ぼう	• 1 ～ 10 までの数字 • 数を扱ったゲーム • Rock,scissors,paper, go! （じゃんけん）	• 1 ～ 20 までの 数字 • How many ~s?	• 1~60 までの数 字	• 1 ～ 100 までの 数字 • How many ~s do you have? • I have ~.
3	自己紹介をしよう	• I'm ~.(名 前) • What's your name?	• I'm~.(名 前、年 齢) • What's your name? • How old are you?	• My name is~. • I'm ~years old, • I like ~.	• My name is~. • I'm ~years old, • I'm from Japan/ China / UK.
4	今日の天気は？ 時計を読もう	• How is the weather? • It's sunny / rainy / cloudy /windy / snowy,	• 復 習 • What time is it ? • It's ~ o'clock.	• 復 習 • What time is it ? • It's one-thirsty. (何時何分)	• 復 習 • I get up at seven, • I go to bed at nine-thirty. (生活時間)
5	カレンダーで遊ぼう		• What day is it ? It's ~. (曜 日) • 誕生月 ・ ・ • My birthday is ~.	• 日 付 (1 ～ 31) • When is your birthday? It's June 2nd. (誕生日)	• 四季 • What's the date today? • It's May 1st.
6	これなあに？	• What ~ is this ? ・ ・ It's a (an) ~. (果 物 ・ 動 物)	• What ~ is this ? ・ It's a (an) ~. (果 物 ・ 動 物)	• What ~ is this ? ・ It's a (an) ~. ・ (教 科、身 の 回 り の 文 具 等)	• What ~ is this ? ・ It's a (an) ~. ・ (ス ポ ー ツ ・ 演 奏 等)
7	好きなものは何？		• I like ~. ・ ・ • I don't like ~, (果 物 ・ 動 物)	• Do you like ~ ? ・ What ~ do you like ? 教 科、ス ポ ー ツ 文 具 等)	• I like skiinng/ to play ~ . (ス ポ ー ツ ・ 演 奏 等)
8	体を使って遊ぼう	• 顔にあるもの • Touch your ~ . • Open / Close your ~ .	• 体の部分 • Touch your ~ . Raise / Put down your ~ .	• シェスチャーゲーム • What's this ? It's a ~ . • 動き jump / turn around stop / right / left / forward / back (ward)	• 動き jump / turn around stop / right / left / forward / back (ward)
9	色や形をつかって 遊ぼう			• I like ~. (色) • Do you like ~ ? Yes. / No. (形) triangle/circle square / rectangle	• What coldr is this ? • It's ~ . (形) diamond / oval / star / heart
1 0	買い物をしよう			• How much is it ? Thirty yen. (!0~100yen)	• May I help you ? How much is it ? Thirty yen. (!0~1000yen)

英語活動年間指導計画 第6学年

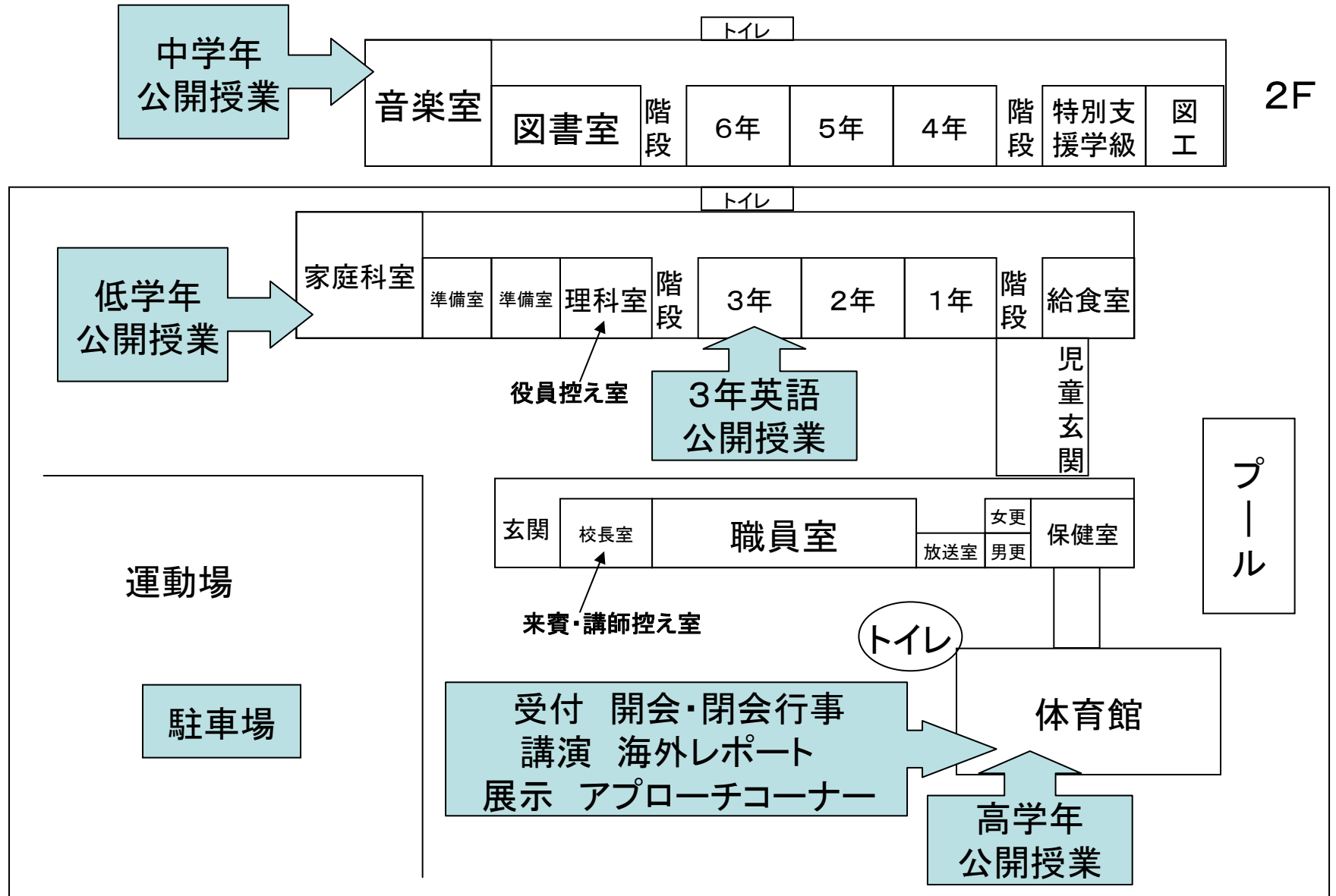
津山市立 誠道小学校

単元	タイトル	指 導 内 容				
		第 1 時	第 2 時	第 3 時	第 4 時	使用表現等
1	アルファベットで遊ぶ	・アルファベットの大文字の読み方を知る。	・アルファベットの文字の読み方を聞いて、大文字を認識する。	・自らアルファベットの文字を読み、大文字とその読み方とを一致させる。		What’ s this ? / It’ s ～. A ～ Z
2	いろいろな文字があることを知ろう	・世界の様々な文字に興味をもち、アルファベットには小文字もあることを知るとともに、21 以上の数字を言う。	・アルファベットの込みんに興味をもち、小文字を認識する。	・自らアルファベットの文字を読み、小文字とその読み方とを一致させる。	・身の回りにあるアルファベット表示に興味を持ち、アルファベットの大文字と小文字とうを書き写す。	What’ s this ? / It’ s ～. A ～ z
3	カレンダーを作ろう	・日本の行事や特徴を確認し、行事の行われる月の言い方を知る。	・自分の誕生月を言う。	・誕生日について、まとまった話を聞いて、その概要を理解する。	・自分や友だちの誕生日について尋ねたり、答えたりする。	When is your birthday ? My birthday is March 3 rd .
4	できることを紹介しよう	・相手の話を積極的に聞き、何ができ、何ができないかを理解する。	・質問に答えて、自分のできることと、できないことを伝える。	・友だちとどのようなことができるのかを、尋ねたり答えたりする。	・自分のできることを発表したり、友だちの発表を理解したりする。	Can you swim ? Yes,I can./ No,I can’ t. I can swim. / I can’ t swim.
5	道案内をしよう	・町中にある様々な建物の言い方に興味を持ち、理解する。	・方向や動きを指示する表現を聞いて、理解する。	・方向や動きを指示する表現を使って、相手に目的的场所を教える。	・実際に道案内をしたり、案内に従って目的地に行ったりする。	Where is the flower shop ? Go straight. Turn right / left. / Stop.
6	行ってみたい国を紹介しよう	・世界には様々な英語があることを知る。	・行きたい国とその理由について聞き、概要を理解する。	・行きたい国を尋ねたり、答えたりする。	・行きたい国を理由とともに言ったり、相手の行きたい国と理由を理解したりする。	I want to go to Italy. Let’ s go.
7	自分の一日を紹介しよう	・世界には時差があることを知るとともに、時間についての表現を知る。	・先生の一日の生活について話を聞き、その概要を理解する。	・自分の生活に関する表〈生活表〉を作成する。	・作成した生活表をもとに、自分の一日を紹介する。	What time do you get up ? At 7:00. / I go to bed.
8	オリジナルの劇をつくらう	・世界には様々な民話や物語があることを知り、それらに興味を持って聞く。	・「おおきなかぶ」の面白さを知り、グループで登場人物」を変え、オリジナル「大きなかぶ」の話をつくる。	・グループでオリジナルの物語をつくり、劇の練習をする。	・オリジナルの物語を発表したり、他のグループの発表を聞いて理解したりする。	<i>Pleasa help me.</i> <i>What’ s the matter ?</i>
9	将来の夢を紹介しよう	・様々な職業の言い方を知る。	・将来つきたい職業について話されていることを聞いて理解する。	・将来つきたい職業について、尋ねたり答えたりする。	スピーチ・メモをもとに、理由を含め自分の夢を紹介する。	What do you want to be ? I want to be a teacher.

英語活動年間指導計画 第5学年

津山市立 誠道小学校

単元	タイトル	指 導 内 容				
		第1時	第2時	第3時	第4時	使用表現等
1	世界の「こんにちは」を知ろう	・世界には様々な挨拶があることを知る。	・挨拶のマナーを知り、積極的に挨拶し、自分の名前をいう。	・友だちとあいさつをし、作成した名刺を交換する。		What’ s your name? My name is Ken. Nice meet you.
2	ジェスチャーをしよう	・様々な様子を表す語を知り、そのジェスチャーをする。	・ジェスチャーの大切さを知り、ジェスチャーを交えて思いを伝える。	・ジェスチャーを交えて、進んで相手にあいさつをする。	・感情や様子をジェスチャーを交えて表現する。	How are you? .I’ m happy.
3	数であそぼう	・1～10までの数を言う。	・1 ～ 20 までの数を言う。	・いくつか尋ねたり、1 から 20 までの数で答えたりする。	・数を扱ったゲームを友だちと行う。	How many ? Five
4	自己紹介をしよう	・好き嫌いについて聞き取る。 ・野菜や果物、スポーツの言い方を知る。	・自分の好き嫌いを相手に伝える。	・自分の好きなものを含めて自己紹介する。	・友だちに好き嫌いを尋ねる。	Do you like apples? Yes, I do. / No, I don’ t. I like bananas. Thank you.
5	買い物をしよう	・世界には様々な衣装があることを知るとともに、衣服の言い方を知る。	・色の言い方を知り、衣服を表現する。	・好きな衣服を買う場で使われる表現を知る。	・聞き手に自分が勝ったものが正しく伝わるように発表する。	I don’ t like blue
6	外来語を知ろう	・外来語とその由来の語との発音の違いに気づき、注意して発音する。	・相手から尋ねられた際、自分のほしいものを相手に頼む。	・欲しいものを尋ねたり要求したりして、友だちのフルーツ・パフェを作る。	・作ったフルーツ・パフェを紹介する。	What do you want? Melon,please.
7	クイズ大会をしよう	・教室にあるものの名前を知る。	・質問を理解し、答える。	・相手に尋ねる。	・友だちと互いに尋ねたり答えたりして、クイズ大会を楽しむ。	What’ s this ? It’ s a penncil.
8	時間割を作ろう	・教科の言い方を知る。	・教科名や曜日を扱ったゲームをする。	・作成した自分の時間割を友だちに伝える。	グループで作成した時間割を発表する。	<i>I study Japanese.</i>
9	ランチ・メニューを作ろう	・日本と外国では朝食時に食べるものが異なっていることを知る。	・食べ物や料理を表す語を知る。	・自分の欲しい料理や食べ物を伝える。	・グループで作成したスペシャル・ランチを紹介する。	What would you like ? I’ d like juice.



リマ日本人学校及び現地校における教育事情 ～現地国際理解教育の推進～

岡山市立江西小学校 教頭 山本義人

1 研究の概要

- ・リマ日本人学校開校40周年にあわせて資料集「CONOZCAMOS EL PERU」（ペルーを知ろう）を改訂し、ペルーの歴史や文化について再認識する。
- ・校外学習等を利用して、現地へ出かけていき、ペルーの現状を理解する。
- ・リマ日本人学校の国際交流学習を振り返り、国際理解教育のまとめをする。

2 実践事例

- (1) 2007年度はペルー資料集「CONOZCAMOS EL PERU」の改訂を行うことでペルーについて詳しく理解することを目指した。
- ①「国土と自然」ペルーは南米大陸の赤道直下に近い地域に位置し、国土面積は日本の約3.4倍である。ペルーの人口は約2,600万人で首都のリマ市には約800万人が集中している。国土は大きく分けてセルバ（熱帯雨林地帯）、シエラ（アンデス山岳地帯）、コスタ（海岸砂漠地帯）の3種類に分類することができ、世界中の気候が集まっているとさえ言われている。
 - ②「文化」ペルー国民の約90%がカトリック教を信仰しているため、国家行事もその影響が強い。アンデス原産の代表的な作物に、ジャガイモ、トウモロコシ、カボチャ、トマト、トウガラシなどがあり、くだものや魚介類も豊富。
- (2) 2008年度は小学部3・4年生の社会科を担当したこともあり、校外学習（社会科見学）を利用して現地に出向き、実際にペルーの現状を調査・研究した。
- ①リマ市スルコ区ゴミ分別施設、セダパル浄水場見学
 - ②ラ・モリーナ農業大学、ペルー味の素工場訪問
- (3) 2009年度はリマ日本人学校の国際理解教育について、現地校との交流学習を中心にまとめた。
- ①日秘（日本、ペルー）友好運動会
 - ②ラ・ウニオン校（日系人系列校）訪問・招待交流
 - ③サンタ・ベアトリス幼稚園保育実習、日系人弁論大会審査

3 まとめ

2年目はペルーでAPECが開催され、リマ日本人学校が開校40周年を迎えた。3年目は日本人ペルー移住110周年、在リマ領事館開設100年の年に当たったこともあり、日本とペルーの関係がますます強くなっている時期であった。そのため在ペルー日本国大使館や総領事館、JICAや駐在企業の協力が得られやすく子供たちにとって有意義な活動が推進できた。

海外レポート記録

私は、バーレーンについて、ペルーに2度目の海外派遣を経験して来ました。日本を含めてこの3つの国の旗は、みんな紅白です。

さて、まずバーレーンについてお話ししましょう。バーレーンは、日本とは6時間の時差です。淡路島くらいの大きさの島国で、サウジアラビアとハイウェイでつながっています。海は遠浅ですが、今ではもう石油が出ません。サウジアラビアから原油を輸入し、精製して輸出しています。年に3日ほどしか雨は降らず、気温は常に日本の気温の20度も高い厳しい気候です。だから夏は暑すぎて、外での活動は5分以内でないといけません。ひまわりは、冬に咲きました。また、バーレーンでは、らくだは王様の持ち物なのです。



次に、ペルーについてお話しします。ペルーには、世界の気候があります。北部は、アマゾン川流域で、熱帯ジャングルになっています。首都のリマは、人口800万人の大都市です。太平洋岸に位置し、海岸砂漠地域です。冬は、霧が発生します。南部は、山岳地帯となっていて、ナスカの地上絵や、マチュピチュの空中都市が有名です。この地域は、赴任1年目に大地震に襲われました。



さて、ペルーはスペインに長く占領されていたため、スペインの文化が根付いています。パエリアなどの魚料理もあります。とてもおいしいです。また、日本から初めて移民を受け入れた国で、それは110年も前のことになります。ちなみにブラジルは、それより10年後になります。日本人学校の児童生徒数は、50人足らずで、ペルー人の母親も多いです。ですから、運動会は日系人を招待して、友好運動会として大々的に開催します。移民の歴史が長いため、日系人3世ともなると、顔は日本人なのですが、ほとんど日本語は話せません。ペルーも残念ながら治安は悪く、公共交通機関などの利用は、危険でできません。学校は、高い壁で覆われ、8人のガードマンがいて誘拐などを防ぐ役目をしています。日本で、避難訓練というと、火事の場合が多いと思いますが、ペルーではテロ対策の訓練になります。サイレンで逃げる方向を変えたりしていました。日本ほど暮らしやすい国はありませんが、海外で暮らす日本の子供たちは明るくたくましいです！



アジア大会にわいた広州と広州日本人学校の様子

笠岡市立金浦中学校 教諭 藤井小百合

1 広州の様子について

広州は、北京や上海より南に位置し、南へ行くほど反日感情は少なくなります。1000万人を超える大都市で、昨年は広州アジア大会が開かれました。気候は、亜熱帯海洋性季風気候で、年間平均気温は約23度と過ごしやすいです。また、「食は広州にあり」という広東料理の中心地でもあります。



朝などに点心を食べながら喫茶する飲茶の習慣があります。現在は、ハンバーガーやフライドチキン、ピザなどの欧米系ファストフード店やコーヒーショップ、回転寿司店なども見られます。

2 広州日本人学校の様子について

① 教育課程

私は、中学部の国語と、小学部の家庭科を受け持ちました。また、特別支援の担当にもなりました。修学旅行では、香港やマカオに行きます。

② 中学部での取り組み

中学部の総合学習は、中国理解でした。援助やボランティアのあり方などを研究しました。ハンセン病の回復村を訪れたり、活動家の講演会を開いたりしました。中学部から小学部まで、小規模校ならではの、それぞれの発達段階にふれられ、貴重な体験になりました。限られた条件で自分なりに努力できたと思います。

3 現地の学校の様子

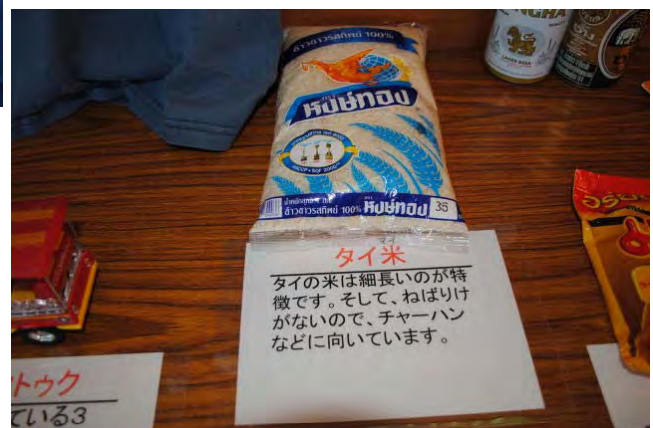
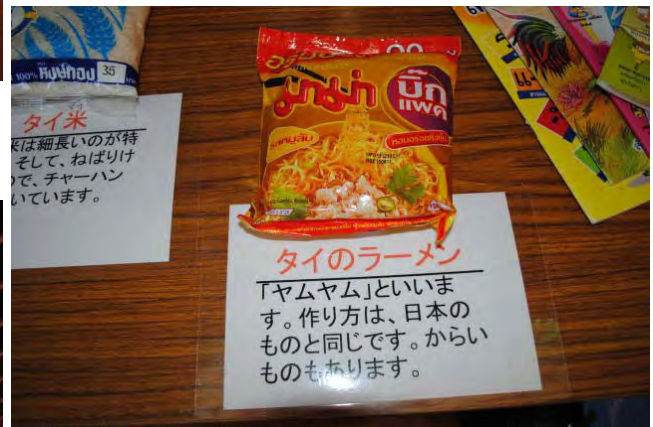
現地の中学校を参観する機会がありました。授業は、黒板を使うのではなくて、コンピュータとプロジェクターで行われていました。学校は、週5日制です。それぞれの授業は、40分ずつでした。1日の時間割は、8時間目まで組んでありました。生徒達は、ノートは使用せず、教科書に直接書き込んだり、ワークシートを使用したりしていました。学歴社会は、日本よりもっと厳しいようです。



展示物



タイ





中国



ドイツ





マレーシア





インドネシア

エジプト



あ と が き

大寒を過ぎた 1 月 25 日、研究会場の津山市立誠道小学校に、厳しい寒さの中、県下各地並びに津山市内各校より多くの先生方に参加いただき、大会テーマ「世界の中の日本学び合う国際理解教育」、開催地テーマ「私にもできる 国際理解教育」を前提とした 2010 年（平成 22 年）度 第 18 回岡山県国際理解教育研究大会が開催されました。

開会行事では、都築会長のあいさつに続き、ご来賓の津山市教育委員会教育長田村芳倫様より、ご自身の海外派遣体験を交えたごあいさつを頂きました。

その後、海外レポートとして「リマ日本人学校及び現地校における教育事情」（岡山市立江西小学校山本義人教頭）並びに「アジア大会に沸いた広州と広州日本人学校の様子」（笠岡市立金浦中学校 藤井小百合教諭）をテーマに、お二人それぞれが、派遣先での教育事情や生活の様子等を映像や具体物を使って楽しく紹介してくださいました。

続く公開授業Ⅰ・Ⅱでは、会場校の 1 年生から 6 年生までの全児童が、低・中・高の学年部に分かれて様々な学習活動を公開しました。1・2 年生は生活科で、「タイの遊びを楽しもう」をテーマに、輪ゴムやバケツ等身近なものを使ったいろいろな遊びにチャレンジしました。3・4 年生は、総合的な学習で、「マレーシアの B-1 グルメに挑戦」をテーマに、小麦粉を使ったロティ・ジャラとライムジュース作りにチャレンジしました。5・6 年生は総合的な学習で「知ることから始まる国際理解①②」をテーマに、インドネシア・フィリピン・ケニアの 3 カ国の方々をお招きして、コミュニケーションを通して相互理解を図り、日本の伝統ゲームを共に楽しんだり、民族衣装や伝統スポーツを紹介し合ったりしました。相互に笑顔あふれる交歓ができました。また、3 年生の英語の授業では、「What ~ do you like ?」をテーマに、相互に好きなスポーツを尋ね、答え合う事を通して、英語によるコミュニケーションを楽しむことができました。全授業を通して子ども達が笑顔で生き生きと活動し、楽しく国際理解に取り組んでいたのが、大変印象的でした。

その後、岡山県国際理解教育研究会・参与（岡山ユネスコ協会・講師並びに岡山文化連盟・講師）片山主計先生より「授業で使える 世界の話」～国旗を使った演習～との演題でご講演いただきました。多くの海外留学生を受け入れ、お世話されてこられた中での悲喜こもごもや世界の国々の国旗の誕生にまつわる話、さらに、国旗に込められた意義や思いといったことなどを参加者と問答しながら、楽しくお話くださいました。これらのことは、国際理解教育に直結した教材として、今後の授業に十分活かしていきたいと思いました。

また、体育館内には、派遣経験のある教員による各派遣国の紹介や物品の展示コーナーも設けられ、各派遣校での日々の活動や様子の紹介、派遣教員の海外での活躍等が広く紹介され、参加者の興味・関心を引きました。その他、昼食休憩の際の余興として、会場校の福田校長が披露してくださった玄人はだしのマジックショーも大変興味深く拝見させていただきました。

次期平成 23 年度は、岡山東地区において第 19 回岡山県国際理解教育研究大会が開催される予定となっています。次期大会の成功と本会のさらなる発展を望んでいます。

最後に、本研究大会を開催するにあたって、ご後援いただいた岡山県教育委員会、津山市教育委員会等、多くの関係機関を始め、本大会の開催のために会場校として、授業公開等のご協力をいただいた福田一紀校長先生を始め、津山市立誠道小学校職員の皆様方、本会役員並びに関係諸氏に心から感謝とお礼を申し上げます。

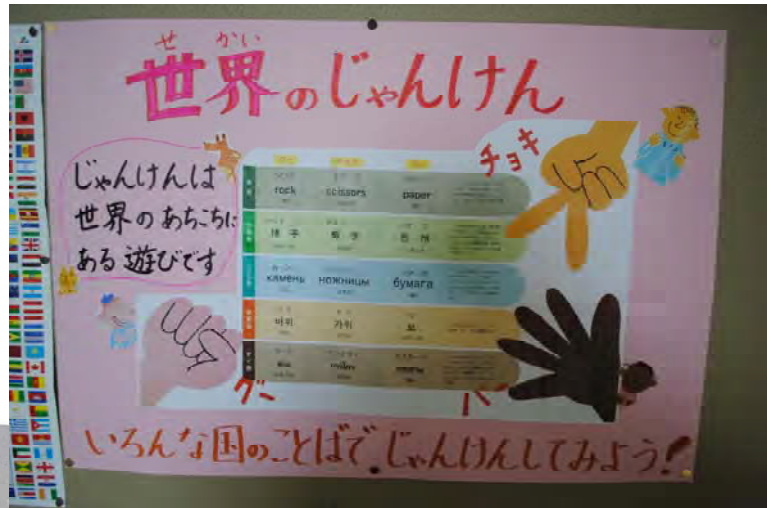
2011（平成 23）年 3 月 1 日

編集部担当副会長 多田 賢一

第 18 回	岡山県国際理解教育研究大会報告書
発行	2011（H23）年 5 月 3 日
発行責任者	岡山県国際理解教育研究会
	会長 都築 勉
事務局	岡山市立中央小学校
	T E L （086）234-7750

※この研究大会は、福武教育振興財団の助成を受けています。

校内掲示物



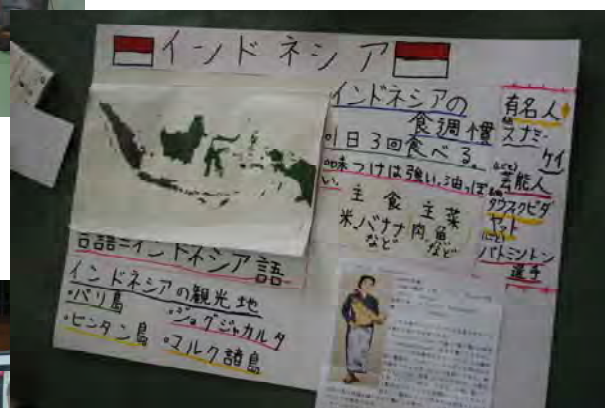
授業写真



授業写真



授業写真



授業写真

